

## 会議結果のお知らせ

令和8年6月26日掲載

審議会名称	山梨県公募型プロポーザル方式事業者選定等委員会 (山梨再発見写真・動画コンテスト企画運営業務委託審査委員会)
日時	令和8年6月24日(水曜日) 13時30分～14時45分
場所	山梨県庁 防災新館409会議室
出席者の氏名	(委員) 増田貴史 河本毬馨 在原巧 鈴木孝二 田原典男 (事務局) 地域ブランドグループ 地域ブランド戦略監 他(5人)
議題	1. 山梨県公募型プロポーザル方式事業者選定等委員会(山梨再発見写真・動画コンテスト企画運営業務委託審査会)運営要綱の制定 2. 企画提案のプレゼンテーション審査及び受託事業者の選定
会議の結果	議題1 山梨県公募型プロポーザル方式事業者選定等委員会(山梨再発見写真・動画コンテスト企画運営業務委託審査会)運営要綱を制定し、委員長を選任した。 議題2 山梨再発見写真・動画コンテスト企画運営業務委託に係る企画提案について審査し、業務委託候補者を選定した。
会議を非公開とした理由	議題1 山梨県情報公開条例第8条第6号に規定する事項について審議等を行うときに該当(指針第3条第1項) 議題2 山梨県情報公開条例第8条第2号に規定する事項について審議等を行うときに該当(指針第3条第1項)
会議資料 公表非公表の別	議題1 全部公表 議題2 非公表
会議録 公表非公表の別	一部公表
問い合わせ先	所属名、担当者名: 高度政策推進局 地域ブランドグループ 電話番号: 055-223-1584 ファックス番号: 055-223-1776
備考	

## 企画提案審査方式による選定結果一覧表

公表項目	内 容
1 契約名	山梨再発見写真・動画コンテスト企画運営業務委託契約
2 審査年月日	令和8年6月24日（水曜日）
3 評価基準、配点及び評価	第一順位委託候補者
基本的事項：業務に対する理解度・基本的な考え方 （配点：10点×審査委員5名）	2 7
業務における工夫：業務に関する企画提案内容 （配点：140点×審査委員5名）	4 5 6
業務実施計画 （配点：10点×審査委員5名）	3 3
評価指標（KPI） （配点：10点×審査委員5名）	3 3
業務実施体制 （配点：10点×審査委員5名）	3 5
過去の実績・類似する業務の経験・専門知識 （配点：10点×審査委員5名）	4 3
価格 （配点：10点×審査委員5名）	5 0
4 審査結果	6 7 7
5 契約の方法	企画提案審査随意契約
6 委託候補者の名称	契約後に別途山梨県のホームページで公表
7 所属名	高度政策推進局地域ブランドグループ

**山梨再発見・動画コンテスト企画運営業務に係る  
企画提案選定の手順及び審査の基準（企画提案審査）**

**1 選定の手順**

(1) 審査委員による申請内容の審査

(2) 審査結果により委託候補者を選定

- 「2 審査の基準」に示す内容点各項目の得点（審査委員の評価点に係数を乗じて算出する）と価格点を合計したものを審査点（200点満点）とする。
- 審査委員の審査点を合計して総合点を算出し、得点の多い順に選定する。
- 二次審査において、総合点が同じ場合は、審査委員の多数決により順位を決定する。ただし、次のいずれかに該当する場合は順位にかかわらず委託候補者とししない。
  - ・ 審査委員の2名以上が評価点2点以下とした審査項目が1つ以上ある場合
  - ・ 審査委員の2名以上が審査点を100点未満とした場合

**2 審査の基準**

審査項目	評価点 (10点満点)	係数	配点 (評価点×係数)
<b>(1)内容点</b>			
<b>ア 基本的事項:業務に対する理解度・基本的な考え方</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山梨の文化的テロワールについて十分な理解を有しているか</li> <li>・ 本業務の趣旨・目的を十分に理解した上で、全体の企画コンセプトが示されているか</li> </ul>	10	1	10
<b>イ 業務における工夫:業務に関する企画提案内容</b>			
<b>(ア)写真・動画コンテストの企画</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 募集において山梨の文化的テロワールについて、県民等に分かりやすい説明をしているか</li> <li>・ 名称やコンセプトについて、多くの方から共感を得るものになっているか</li> <li>・ 県民等の関心を喚起しうるコンテスト内容を構築しているか</li> <li>・ 表彰が、事業達成のため必要な内容になっているか</li> </ul>	10	2	20
<b>(イ) コンテストの周知等</b>			
<b>①チラシの作成及び配布など紙媒体による広報活動</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンテストの周知について、効果的かつ効率的な手法を提案しているか</li> </ul>	10	1	10
<b>②特設ホームページの設置及び作品募集ページ等の制作</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務目的に照らして十分な理解を有したうえで構築しているか</li> <li>・ 年齢や性別にかかわらず、誰もが親しみやすい構築となっているか</li> <li>・ 掲載内容の定期的な更新など、鮮度を保つ工夫をしているか</li> <li>・ 障害発生時の対応が十分な対応であるか</li> <li>・ 作成した特設ホームページについて、写真・動画コンテスト情報サイト等の各種媒体への情報提供やSNS公告等を行うことなど、一層の周知を図っているか</li> </ul>	10	2	20
<b>③機運醸成の取り組み</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンテストの機運醸成のため、効果的なエンゲージメントを構築しているか</li> </ul>	10	2	20
<b>(ウ)写真・動画コンテスト運営</b>			
<b>①コンテスト事務局機能</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局機能として、十分な機能を有しているか</li> <li>・ 県民等からの応募等に関する問い合わせ体制は十分か</li> <li>・ 山梨県との連絡、協議体制は十分か</li> <li>・ 表彰作品応募者の本人確認は、誤りなく実施が可能か</li> <li>・ 表彰作品について、権利関係の争訟が起こらない確認体制を構築しているか</li> <li>・ 表彰者からの原簿データの取り寄せは確実か</li> </ul>	10	2	20
<b>②審査会運営</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予備審査において、中立的な観点を持ち、疑義が生じない審査手法を構築しているか</li> <li>・ 審査会の実施にあたっては、最適な委員を提示するほか準備等は十分か</li> </ul>	10	2	20
<b>(エ)セレモニー(表彰式)運営</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表彰式(セレモニー)として進行等、内容が十分か</li> </ul>	10	1	10
<b>(オ)アーカイブページの構築</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 閲覧者が関心を持つようなストーリー性を持ち、視覚的にも分かりやすい内容になっているか</li> <li>・ 委託期間終了後において、受託者以外の者への引き継ぎが円滑に進むよう、具体的な内容を提案しているか</li> </ul>	10	2	20
<b>ウ 業務実施計画</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務の実施スケジュールに実現性があるか</li> <li>・ 実施手順が効果的であるか</li> </ul>	10	1	10
<b>エ 成果指標(KPI)</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適切なKPIが設定されているか</li> </ul>	10	1	10
<b>オ 業務実施体制</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンプライアンスや情報管理を適確に行い、本事業を確実かつ効果的に実施する体制を備えているか(他社との連携体制を含む)</li> <li>・ コンプライアンスや情報管理を適確に行う体制を備えているか</li> </ul>	10	1	10
<b>カ 過去の実績・類似する業務の経験・専門知識</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門的・技術的な知見を有し、ノウハウを活かすことが期待できるか</li> </ul>	10	1	10
<b>(2)価格点</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配点×応募者中の最低価格/提案者の価格</li> <li>※ 小数点以下第1位で四捨五入</li> </ul>			10
<b>審査点</b>			<b>200</b>